

教科シラバス（芸術科）

科目名	美術 I	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必履修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
高校生の美術1（日本文教出版）・デザインセット					
科目の概要			学習目標		
<p>さまざまな美術作品の制作を通して、表現する喜びやつくりだす楽しさを味わい、創造的思考力や判断力を養う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとに目標を理解し、作品の制作をする。 ・作品の制作を通して材料や用具の特性を学び、自らの主題を生成し、発想や構想を追求する。 ・芸術を愛好する姿勢を身に付ける。 		
年間学習プログラム					
	学習内容		学習のねらい		
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・美術Iオリエンテーション ・デザイン（パターンアート） ・基礎的な絵画（デッサン） 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術が人間の生活と密接に関わっていることを学ぶ。 ・視覚的パターンを描くことで、自己表現する喜びや楽しさを身に付ける。 ・鉛筆の削り方や使い方を学ぶ。 ・デッサンの基礎的な技術と考え方を課題制作を通して学ぶ。 		
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン（キャラクターデザイン） ・彫刻（フィギュア制作） ・映像メディア表現（パラパラ漫画） ・映像メディア表現（鑑賞） 		<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターデザイン制作を通してデザインの基礎的な技術と考え方を学ぶ。 ・キャラクターデザイン案を元に、二次元から三次元に置き換える思考を身に付ける。 ・フィギュア制作を通して、材料の特性を活かした造形を学ぶ。 ・アニメーション制作の基本的な技術と考え方をパラパラ漫画の課題制作を通して学ぶ。 ・映像メディア表現の歴史、表現の特徴などを学ぶ。 		
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸（紙工芸制作） 		<ul style="list-style-type: none"> ・紙工芸制作を通して、紙の加工方法について学び、豊かな発想力と構成力を身に付ける。 		
評価の観点及び内容					
知識及び技能	<p>創造的な表現をするために必要な材料や用具を活用する技能や知識を身に付け、意図に応じて使用方法を工夫しているか。</p>		思考・判断 ・表現	<p>感性や想像力を働かせて感じとったことを目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>美術作品の多様性、表現の工夫、美しさに関心を持ち、意欲的に授業に参加しているか。</p>				
評価方法及びその他留意事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・上記3つの観点に加え、準備物、授業態度、小テスト等の課題の提出状況など総合的に評価をする。 ・芸術科目（美術I）は1年次のみ開講である。2年次、3年次に芸術科目は開講されない。 					